

神東小学校和牛体験学習アンケート

9月30日

1. 参加者の性別と年齢(事務局等は除外)	人数	%
男	2	40.0%
女	3	60.0%
計	5	
30代 男		0.0%
女	1	20.0%
40代 男	1	20.0%
女		0.0%
50代 男	1	20.0%
女	2	40.0%
計	5	

2. 今日は何がよかったですか。	人数	%
家畜とのふれあい	5	45.5%
子牛の測定		0.0%
子牛のお話し	3	27.3%
学年別意見交換	3	27.3%
給食交流		0.0%
その他()		0.0%
計	11	

3. 生産者との意見交換会について感想を聞かせて下さい。	人数	%
生産者の気持ちが理解できた	3	37.5%
まだよく分からないことがある		0.0%
生産者の言い分が理解できない		0.0%
消費者の要望も聞いて欲しい		0.0%
もっと話を聞いてみたい	4	50.0%
時間がなかった	1	12.5%
つまらなかった		0.0%
計	8	

4. このような体験学習は初めてですか。	人数	%
初めて		0.0%
2回目	5	100.0%
3回以上		0.0%
計	5	

6. 今日の体験・交流会に参加されていかがでしたか。	人数	%
良かった	4	44.4%
学ぶことが多かった	3	33.3%
予想以上に清潔だった	1	11.1%
楽しかった		0.0%
またやりたい	1	11.1%
疲れた		0.0%
もうやりたくない		0.0%
計	9	

7. 今日の体験・交流会に参加するまで、「畜産」に対してどのような印象をお持ちでしたか。	人数	%
自然とともに生活できる	1	16.7%
畜産物食品生産に貢献している	3	50.0%
高収入が期待される		0.0%
よく知らなかった	1	16.7%
汚くて臭そうな感じ		0.0%
疲れそう	1	16.7%
収入が少ない		0.0%
計	6	

8. 参加してみて、「畜産」に対するイメージは変わりましたか。	人数	%
変わった	4	80.0%
変わらない	1	20.0%
計	5	
8-1. 「変わった」と回答した方に伺います。どのように変わりましたか。		
親しみがわいた	1	25.0%
理解が深まった	3	75.0%
嫌悪感をもった		0.0%
計	4	

9. 今後、国産の畜産物を利用していきたいと思いますか。	人数	%
思う	5	100.0%
思わない		0.0%
計	5	

9-1 「思わない」と回答した方に伺います。それはどうしてです	人数	%
海外産に比べて価格が高い		
品揃えや新鮮なものが少ない		
海外産の方がよい		
おいしくない		
生産や流通過程が不安		
衛生的に生産されていない		
安全で安心して買える		
計		

11. このような体験学習をまたやってみたいですか。	人数	%
やってみたい	4	80.0%
やりたくない		0.0%
その他(具体的に)	1	20.0%
計	5	

12. いま、一番知りたい畜産の情報は何ですか。3つまで書いて下さい。
<ul style="list-style-type: none"> ・牛が食肉になるまでのご苦労やご努力(詳しく)、その経過 ・牛乳ができるまでの過程(ご苦労・ご努力も含めて) ・畜産に関わられている方々の関係(畜産農家、試験場、振興協会、農林事務所など) ・畜産農家の日常活動や御苦労 ・大切にしている事柄 ・畜産農家の方の思いについて

13. 今日の感想
<p>・子供たちに子牛を通して様々な体験活動をさせていただき心より感謝しています。特に子供たちの質問に答えてくださったりふれあい活動や衛生面にも十分配慮していただき興味・関心もてるよう御尽力してくださり、子供たちの牛に対する思いが変わってきているのではないかと思います。今後継続していくこと(数回で終わらせない)が大切だと思いますので、今後ともどうかよろしくお願いします。</p> <p>・生命(牛などの動物も含め人間も)の尊さに気付いた。また、人間のために動物の命がコントロールされていることも考えさせられた。</p> <p>・まず、このような機会を与えてくださったことに感謝します。天候が悪かったのは残念ですが、子供たちにも深く思い出に残るのではないかと思います。毎日、何も考えず、当たり前だと思っていた牛乳や牛肉のことを考え、自分たちの命が他の命や命のもとで支えられていることをさらに深く学ぼうとする良いきっかけとなるよう、学習を続けていきたいと思ひます。</p> <p>・遠くからたくさんの方においでいただきとても感謝しています。子牛くんたちも疲れたことでしょう。子どもたちの意識が、前回早馬牧場におじゃました時から少しずつ変わってきていますので、今回は実際に触れることができ、より実感したと思ひます。</p> <p>・畜産のことがよくわかりました。それに何より来校された方の生きものや自然に対する深い思いに感銘いたしました。ありがとうございました。</p>

神東小学校和牛体験学習アンケート

		9月30日	
1. 学年 年齢() 2. 男 女			%
小1	男 年齢(6~7)	1	3.7%
	女 年齢(6~7)	1	3.7%
小2	男 年齢(7~8)	3	11.1%
	女 年齢(7~8)	3	11.1%
小3	男 年齢(8~9)	4	14.8%
	女 年齢(8~9)	1	3.7%
小4	男 年齢(9~10)	3	11.1%
	女 年齢(9~10)		0.0%
小5	男 年齢(10~11)	3	11.1%
	女 年齢(10~11)	4	14.8%
小6	男 年齢(11~12)	1	3.7%
	女 年齢(11~12)	3	11.1%
計		27	

3. 今日は何が良かったですか。	人数	%
家畜とのふれあい	26	36.1%
子牛 <small>こうし</small> の測定 <small>そくてい</small>	7	9.7%
子牛 <small>こうし</small> のお話し <small>はな</small>	13	18.1%
学年別意見交換 <small>がくねんべつ いけん こうかん</small>	12	16.7%
給食交流 <small>きゅうしょくりゅう</small>	14	19.4%
その他()		0.0%
その他(何でしたか)		0.0%
計	72	

4. 動物ふれあい体験をした感想をお聞きます。(3つまで)	人数	%
初めて動物に触った	2	2.5%
気持ち悪かった		0.0%
臭かった	5	6.2%
汚かった	1	1.2%
温かかった	24	29.6%
優しかった	6	7.4%
気持ち良さそうにしていた	6	7.4%
動物の気持ちが分かるようだった		0.0%
またしてみたい	19	23.5%
「いのち」の大切さを感じた	15	18.5%
動物も人間も同じだと思った	3	3.7%
その他()		0.0%
計	81	

神東小学校和牛体験学習アンケート

		9月30日		
5. このような交流会への参加は初めてですか。		人数	%	
初めて			0.0%	
2回目		25	92.6%	
3回以上		2	7.4%	
計		27		
7. 今日の交流会に参加された感想をお聞きます。		人数	%	
良かった		7	11.5%	
予想以上に良かった		13	21.3%	
楽しかった		24	39.3%	
またしたい		17	27.9%	
期待はずれだった			0.0%	
疲れた			0.0%	
もうしたくない			0.0%	
その他()			0.0%	
計		61		
8. 今日の時間配分はどうでしたか。		人数	%	
ちょうど良かった		22	81.5%	
全体的に長すぎた		2	7.4%	
説明の時間が長すぎた		1	3.7%	
全体的に時間が短かった		2	7.4%	
その他(何でしたか)			0.0%	
計		27		
9. 配られた印刷物等についてはいかがでしたか。		人数	%	
よく分かった		10	35.7%	
まあまあ分かった		15	53.6%	
よく分からなかった			0.0%	
難しかった		3	10.7%	
その他()			0.0%	
計		28		
10. こんなことがしたかったと思うものがありますか。(3つまで)				
うしの体重を量りたかった。				
ふさふさしていたから乗ってみたい				
牛の体の中がどうなっているのか知りたかった				
牛に乗って見たかった。				
牛のしっぽをさわって見たかった				
牛にお水をあげたかった				
もう少し牛をさわりたいかった				
子牛の雌と子牛の雄のどこが違うか比べたい				
子牛の雌と会いたい				
牛は走るのがどのくらい速いのか見たい				
もう一頭の子牛も少しさわりたいかった				
子牛にえさをやりたかった				
つめをさわって見たかった				
雌の乳を搾りたかった				
牛が走ったところを見たかった				
ミルクをあげたかった				
牛のつなを持って見たかった				
牛と競走してみたかった				
牛と写真をとりたいかった				
一緒に走りたかった				

神東小学校和牛体験学習アンケート

1. 今日感想	
牛と牛乳のこと	二年 男子
<p>きょう、けんらくと、ちくさんしけん場に行きました。 けんらくに行った時のんだ牛にゅうはおいしかったです。冬の方がしぼう分が多くてこい牛にゅうになるそうです。牛にゅうがながれているところにおもちゃの車をのせたら町になりそうでした。 ちくさんしけん場にいる牛にえさをあげることができたのでうれしかったです。えさはたくさんあげました。 たべてくれたのでうれしかったです。 つこの長さがちがう牛もいました。したでくちやくちあそんでいる牛はおもしろかったです。 牛のえさのかたまりはとても大きくて、おしてもぜんぜんうごきませんでした。びっくりしました。</p>	
牛を見たこと	二年 男子
<p>今日バスにのって牛にゅうを作るところと、牛がいるちくさんしけん場に行きました。 けんらくでせつ明を聞いてはじめて知ったことがあります。それは、牛にゅうはプリンやヨーグルトになるということと、牛にゅうを青いほこに二十こずつきかいで入れていたということです。とてもおどろきました。 そのあと、牛にゅうをのませてもらいました。おいしかったです。 つぎにちくさんしけん場に行って牛を見ました。えさをあげると、たくさんたべてくれたのでうれしかったです。 つこの大きさが左右ちがう牛がいたのでどうしてちがうのかなあとふしぎに思いました。 牛のふんがひりょうになると聞きました。そのひりょうは、牛が食べる草をそだてるのにつかうそうです。 もう一つ見つけたものがあります。牛のベットになる木のこなです。はじめて見たのでおもしろくてあそんでしまいました。牛のベットをよごしてごめんなさい。岩国からとても遠かったけれど、またみんなでいきたいです。</p>	
けんらくと うしのけんがく	一ねん 男子
<p>わたしは、バスにのってぎゅうにゅうをつくるこうじょうとうしがいるちくさんしけんじょうにいきました。 ぎゅうにゅうはきかいでびんやかみバックにつめていました。 うしはくろいうしがいました。あかちゃんうしもいました。かわいかったです。 うしにえさをあげたらたべてくれました。えさはかわいたくさでした。</p>	
見学したこと	一年 男子
<p>きょう、しものせきにあるけんらくと、みねしにあるちくさんしけんじょうにいきました。 はじめにけんらくへいきました。 へやに入ったらつくえに「ぎゅうにゅうしゅうかん」というパンフレットとしおりと見学手ちょうとえんぴつとぎゅうにゅうがおいでありました。 それをもらいました。しおりにのっているはこづめラインがおもしろかったです。 本とうに見たはこづめラインはすごかったです。つぎにバスにのってちくさんしけんじょうにいきました。 ちくさんしけんじょうにはうしがいっぱいいました。はじめにいろいろ見学しました。 おやうしがそとに出ると子うしもそとにいくし、おやうしが中に入ると子うしも中に入るところがおもしろかったです</p>	
けんらくとちくさんしけん場を見学したこと	二年 男子
<p>今日、けんらくとちくさんしけん場に行きました。 はじめに、けんらくに行きました。プリンも作っているのでびっくりしました。せつ明を聞いたら、プリンのざいりょうに牛にゅうをつかうことがわかりました。 ピカピカひかっていることとで ちゃんと日づけが書いてあるかたしかめるきかいがあったので、どうやって作ったんだろうと思います。 しものせきのけんらくから毎日牛にゅうがくるのでたいへんだと思います。 つぎに、ちくさんしけん場に行きました。母牛がしたことをならしてあそんでいました。 うたをうたっているみたいにおもしろかったです。牛はたのしそでした。 牛さんのうんちがいっぱいあったのでおどろきました。なぜうんちがためてあるかと思いました。 かかりの人に聞いたらひりょうになると教えてくださいました。 はじめは土かと思ってあそんでいたものがあります。それは、土ではなくて木をけずったこなだったのでびっくりしました。 遠くから見ると土に見えるけれど、教えてもらってから近くで見ると、木のこなだとわかりました。 牛さんのベットをおもしろくてあそんでしまったのでさんねんでした。さいごに牛にえさをあげました。 ぼくたちがぐる前にえさをいっぱい食べたからもう食べないと思っていたけれど、いっぱい食べてくれたのでうれしかったです</p>	
牛にゅうこうじょうに行ったこと	二年 女子
<p>今日、けんらくとちくさんしけん場を見学しました。けんらくで、ビデオを見ました。この前見たことがあるので、クイズがわかりました。 わたしたちが学校でのんでいる牛にゅうびんを見つけました。ここで作られるんだなと思いました。 牛にゅうをもらいました。おいしかったです。牛にゅうというのは、しばってからなにもくわえないで百パーセントのものだそうです。 ちくさんしけん場も行きました。 お母さん牛が外にいくと子牛もついていったのでおもしろかったです。べろを回してあそんでいる牛もいました。たのしそにずっとやっていました。 かなえさんとえさをあげました。パクパク食べてくれました。 えさがはいているふくろをかなえさんとおしてもぜんぜんうごきませんでした。牛はこんなに食べるんだと思いました。わたしだったら何日分かなあ。 木をけずったこながつんでありました。土かと思いました。でもおってみたら木のおいがありました。 それは牛のベットになるんだとわかりました。ふかふかでした。ねてみたいです。</p>	

見学したこと 二年 女子

今日、ぜん校で牛にゅう工場を見学しました。
 さいしょに牛にゅう工場に行きました。二ばんと三ばんと四ばんが書いてあるはっこうとれいぞうのへやにヨーグルトが入って行くところを見ることができたのでうれしかったです。
 いつもきゅう食で出てくる牛にゅうびんのまん中に、牛がかいてあってなんの名前なんだろうと思っていました。
 今日、牛にゅう工場に入ったら牛の絵がかいてあってベルちゃんという名前がわかりました。わたしはもう子かと思っていました。プリンのかなに牛にゅうが入っているとわかったけれど、わたしがいつもプリンを作るときには牛にゅうはつかわれないになぜだろうと思いました。
 おべんとうを食べたあと木のそばに行ったら鳥のすをみつけました。はじめて見つけることができたのでとてもうれしかったです。
 牛が何か口の中でしたを回してからころからころやっていました。
 ちくさんしけん場の人に聞いてみたら、「あそんでいるんです。」と言われました。
 わたしがやっても音がそんなに出なかったけれど牛はいっぱいからころからころやっていたので上手だなあと思いました。
 親子の牛は、お母さん牛が外に出たら子牛がついてきて、お母さん牛が中に入ったらまた子牛も中に入ったので、人間みたいだなあと思いました。

牛のことをべん強したよ 二年 女子

今日、けんらくとちくさんしけん場に行きました。
 けんらくでは牛にゅうをパックやびんにつめていました。よく見るとわたしたちが学校でのむ牛にゅうがありました。
 ぜんぶのへやを見てビデオを見たへやへもどる時、ヨーグルトが2と書いてあるへやに入っていくのを見ました。
 わたしはよこにひらくと思ってたけれどたてにひらきました。ひらくとびらの下にひらひらしたものがついていました。
 けんらくでは大きなきかいで、牛にゅうをパックにつめて外からいろいろなけんさをしていました。
 中みがきちんとしているかしらべていました。
 ちくさんしけん場では黒毛わしゅを見ました。生まれて十日の赤ちゃんがいました。耳がぴんとなつてかわいかったです。
 つぎに行ったところには一とう角の長い牛がいたのでどうして切っていないのか聞いてみました。その牛は弱っているのもう切らないそうです。
 牛にえさをあげた時、もりもり食べてくれたのでおなかがすいていたのかなと思いました。
 かわ村さんのところでしぼった牛のおちちがどこに行くかなぞがとけたのでうれしかったです。

牛の勉強 四年 男子

十二月十四日に山口県酪と畜産試験場に行きました。山口県酪の中に入って牛のビデオを二十分間見ました。
 ぼくが不思議に思っていたのは牛乳びんのふたと青い小さいビニールをどうやってくっつけるのかが分からなかったけれど今日見てみると機械で回しながらふたをつけていたのでよくわかりました。動いている時にびんがわることもわかりました。
 ぼくは牛乳をちゃんと味わって飲めなかったので、味わって飲みたいです。
 次は畜産試験場に行きました。その前に昼ごはんを食べてから牛を見ました。
 約束ごとがあって「大きな声を出さないことと黄色の電線をさわらないことを約束しました。
 今日牛をさわることではできなかったけれど、牛のうんちはひりょうになるし、おがくずは牛のベットになることが分かったので、これから牛のことについていろいろ調べたいです。

牛ってすごいな 四年 男子

十二月十四日に、牛の勉強をしに下関市と美祿市に行きました。
 ぼくが初めて知ってびっくりしたことは、牛のふんは利用できるということです。教えてもらうまでは牛ふんはどこかに捨てていると思っていました。牛ふんはわらとまぜてかわかしたら花だんなどのひ料になることがわかりました。
 牛ふんはすごいものだとおどろきました。
 それと牛乳には、たんぱくしつや、ししつ、ビタミンなどの栄養素がふくまれています。
 今までぼくは牛乳に栄養があることは知っていたけれど、これほど栄養があることは知りませんでした。だからこれから牛乳をいっぱい飲んで健康な体を作りたいです。
 今までの牛の勉強でいろいろな人から牛のことを教わったことでぼくたちが牛の勉強をする前よりもすごく成長したと思いました。それも教えてくださったみなさんとお世話になったみなさんのおかげだと思っています。

牛ってすごいな 三年 男子

十二月十四日に、下関市と美祿市に行きました。ぼくはやまぐち県酪下関工場に行くのに、そんなに時間はかからないと思ったけれどバスで二時間くらいかかったのがびっくりしました。
 工場に入ってみると工場はとても広かったです。僕の家が何こも入りそうでした。
 ぼくが一番作ってみたかったのはプリンです。理由はプリンが好きだからです。他にも牛乳を作ってみたいです。
 今まで大人になったら車屋さんになろうと思っていました。でも工場を見学してみるといろいろな食べ物や飲み物を作る仕事をしてみたいと思うようになりました。
 つぎに畜産試験場で弁当とおやつを食べました。それから牛の小屋に入って子牛や母牛をたくさん見ました。子牛はとてもかわいかったです。ぼくはホルスタインもいるかと思っていたけれど肉牛しかいませんでした。
 「ぶたがいるけれど、ぶたインフルエンザになるから今は会えないよ。」と教えてくださったので牛やぶたの健こうに気を付けているのでかんしんしました。ぼくはそれを聞いてなるほどと思いました。

牛は大切な生き物 三年 男子

十二月十四日に牛乳の工場見学や畜産試験場に行きました。
 まず下関市はやまぐち県酪の工場見学をしました。そこでは牛乳、ヨーグルト、プリンなどを作っていました。
 中に入るとファンと牛乳のおいがしてこれが工場のおいなんだなあと感じました。
 そして次に乳牛についてのビデオを見ていくと分かったことがたくさんありました。
 一つ目は工場では百六十人中、百人が牛乳などのけんさをするのです。二つ目は一日に十二万七千四百本もの牛乳がつくられていることがわかりました。
 工場を見るとこんなに人が働いていて牛乳びんができるのかなあと思いました。そしてたくさんきかいがあって働く人もいそがしそうでした。
 バスで次は畜産試験場に行きました。さいしょにわたしがみた子牛は生まれて十日の小さな子牛でした。
 その子牛はお母さん牛が歩くとそこについていっていたのですごくかわいかったです。
 ほかに生まれて四ヶ月の子牛もいました。だから生まれて十日の牛の方が小さかったです。
 さい後に牧草をあげました。一かたまり二百キログラムで五かたまりぐらいありました。
 形は長方形のようでした。わたしと同じ高さでした。わたしは一回えさをあげることができました。すごいおいでびっくりしました。
 でも牧草をあげることができたのでよかったです。
 たくさん分かったことがあったし、びっくりしたし、すごいなあと思ったことがいっぱいありました。

<p style="text-align: center;">牛はひみつがたくさん 三年 男子</p> <p>十二月十四日に下関と美祢市に行きました。はじめに牛乳工場に行きました。これまでぼくはプリンが小麦粉でできていると思っていました。行ってみるとプリンに牛乳が使われていたのでおどろきました。牧場の人たちは午前六時から仕事を始めて午後八時三十分には働き終わると思っていませんでした。午前六時といえばぼくが起きるころです。ぼくは牛が何時に起きて何時に寝るのかを知りたくなりました。つぎに畜さん試けん場に行きました。終わる前にえさの牧草を牛にあげました。あげる時に一度手をなめられたけれど舌がすぐぐらぐらしていました。河村牧場では乳牛のメスをたくさん見ました。だけどオスはみたことがないので見てみたいです。</p>
<p style="text-align: center;">牛乳ができるまで 四年 男子</p> <p>全校で山口県酪下関工場と美祢市の畜産試験場に行きました。そして山口県酪下関工場に行き牛乳ができるまでの様子を見ました。ぼくは最初、牛乳工場では牛乳とヨーグルトしか作っていないと思いました。でもプリンとジュースを作っていたのでびっくりしました。そしてヨーグルトの作り方を聞きました。作り方はヨーグルトの元を入れてその後温めてすぐ冷やすとできることが分かりました。次に牛乳びんについて聞きました。まず人の目でわれめがないかたしかめてその後機械でまたたしかめることが分かりました。次に畜産試験場に行きました。そして牛にエサをあげたりフンについての話を聞いたりもしました。ぼくがびっくりしたことはフンをかんそうさせてひ料にしていることです。そしてぼくたちの学校では花を植える時必ず牛フンを使用しています。ぼくは牛がとても役立つ動物だと思いました。</p>
<p style="text-align: center;">ふんは役立つな 三年 男子</p> <p>十二月十四日、牛を見にちく産しけん場に行きました。一番すごいと思ったのは牛のふんのことです。来る前はふんはすてられると思っていました。けれど今日行ってみると牛のふんはひりょうになってそのひりょうを畑にまくと牧草が生えてその牧草を牛が食べてまたふんがでて、というじゅんに回っていくことが分かりました。牛乳を作っている所を見る時プリンやヨーグルトも作っていました。見学手帳ののっていたけれど、牛乳はネックレスやイヤリングなどになることにびっくりしました。だからどうやって作るのかと不思議に思いました。ぼくはたくさん牛の勉強をしたので牛乳をたくさん飲みたいです。</p>
<p style="text-align: center;">牛ってすごいなあ 三年 男子</p> <p>全校で、下関市にあるやまぐち県酪下関工場と美祢市にある山口県畜産試験場に初めて行きました。生乳はトラックからホースで加熱殺菌きんきに入れておきました。その場面は見ることはできませんでした。工場に入って見学者通路に出ると、作業の様子をガラス越しに上から見ることができました。案内して下さった方のお話によると、牛乳びんは学校などからもどってきたものを、人の目ときかいでわれ目が入っていないかなどをけんさしてから洗浄するそうです。ぼくはその話を聞いて、この工場はびんをリサイクルして地球にやさしくしているんだなあと思いました。だからなるべく牛乳びんをわらないように気をつけたいと思います。ぼくはプリンやヨーグルトもこの工場で作られているということも初めて知りました。この工場に来るまでプリンやプリン工場、ヨーグルトはヨーグルト工場があると思っていました。でもプリンやヨーグルトなどは牛乳工場で作られていることが分かりました。それに、服そうやえいせい面には特に気をつけているということも分かりました。試験場に入るとまずお弁当を食べました。食べ終わって牛にほし草をあげる時初めてだったので、ドキドキしました。あげると牛が近づいてきて「バフッ」と言って食べたので、思わず手を引こめてしまいました。しかし牛はおいしいそうにほし草を食べていたので、あげて良かったなあと思いました。牛のふんは、かわかすと、たいひになり植物のえいようになってその力で牧草を育て、牛のえさにするのだそうです。そういうつなかりをじゅんかんというんだなあと思いました。ぼくは大きくなったらこのやまぐち県酪下関工場で働いてプリンやヨーグルトができるまでの様子や方法を今よりももっと知りたいです。</p>
<p style="text-align: center;">五年 女子</p> <p>私は山口県酪や試験場に行って初めて知ったことがたくさんあります。私は牛乳の歴史も賞味期限と消費期限のちがいや牛のしたの色は種類によってちがうこと、まだまだたくさんあります。私が一番おどろいたのは牛乳には歴史があることです。私は牛乳はアメリカからミルクをもらってそれから牛乳に変わったのかと思っていました。それがビデオでは牛乳が始まったのは貴族や天皇の薬から始まってふつうの人は江戸時代くらいから飲み始めたと言っていたのでおどろきました。いつもふつうに飲んでいるけれど昔はぜいたくな物だったのでこれからは今こんなふうに飲めることを感謝してたくさん飲んで大きくなりたいです。昔の人だけでなく山口県酪の人などにも感謝したいです。いい体験ができてとてもうれしいです。いつまでもこの感謝を覚えておきたいです。</p>
<p style="text-align: center;">六年 女子</p> <p>先日は私たち神東小学校の児童に牛のことについてたくさんのことを教えてくださってありがとうございました。おかげで私は牛についてたくさんのことを知ることができました。とくに私は県酪の牛乳工場でのビデオであった「酪農の歴史」の中の牛乳が五十年前から貴族など裕福な人たちが薬として飲んでいて明治時代にふつうに飲まれるようになったということを初めて知りました。他にも酪農家の一日や乳牛のえさ牛乳ができるまでを知ることができました。これを見て、私は牛乳ができるまでにはたくさんの人の苦労や時間がかかっていることを知りとてもびっくりしました。だから私は牛乳を飲むときは、このことを考えながら味わって飲みたいです。このおいしい牛乳を飲めるのもたくさんの農家の方のおかげなので本当にありがとうございました。機会があればまた牛乳の勉強をしたいです。</p>

五年 女子

山口県酪乳業株式会社ではスクリーンでの説明、工場見学をしてたくさんびっくりしたことがありました。特にびっくりしたことは三つあります。一つは山口県では牛乳を一日に十二万七千四百本も飲んでいることです。もう一つは牛は一年間に約八千リットル分も乳をたしていることです。八千リットルって一リットル牛乳八千本もあるからすごい量だなと思いました。もう一つは牛乳は世界では五千年前にも飲み始めていたことです。五千年前って紀元前だからすごい昔だなと思いました。美祢市のちく産試験では、舌の色がちがう牛がいました。ちく産試験場の方に聞くとハーフだということを知りました。牛にもハーフがいるんだなと思いました。舌をならして、遊んでいる牛もいました。何かをかんでいるのかと思ったら遊んでいると分かりびっくりしました。牛も遊ぶんだなと思いました。牛にえさをあげると舌でからめとって食べていました。大食いの牛は八キログラムも一日に食べると聞いてびっくりしました。牛乳をつくるためにたくさんの人が働いていることも分かりました。これからは牛乳を飲む時にたくさんの人が働いてくれていることを感謝したいです。それにもっともっと牛について知りたいです。

六年 男子

山口県酪乳業株式会社と畜産試験場に行きました。牛乳工場では、牛乳を作る機械がたくさんありました。牛乳以外にもプリンやヨーグルトなどもいっしょに作っていました。機械にもいろいろなものがあって、牛乳にフタをする機械はものすごい速さでフタをつめていたのでびっくりしました。ほとんど機械がやっていると思ったけれど、百人以上も人が働いていました。牛乳をしぼりたてで手をくわえていないのが生乳で、工場で殺きんなどとして初めて牛乳になるのにはおどろきました。試験場では緑の牧草がたくさんあったのでぼくが想像していたような牧場でした。牛にえさもあげられました。よく見ると舌がまるでキリンのように長かったです。舌の色がちがう牛がいました。聞いてみるとそれはハーフの牛でした。牛の世界でも人間や犬のようにハーフがあるんだなと思いました。今回もまた牛について新しいことをたくさん知りました。いろいろな人が協力しているのでこれからも、「いただきます」と「ごちそうさま」のあいさつを忘れないようにしたいです。

五年 女子

私が一番びっくりしたことは、びんの牛乳は一秒間に約一本つuckingていることや牛乳をつくるのに、あんなに清潔にしていたことです。例えばトイレに行っただけなのに、ながぐつを消毒し、手を消毒し最後にはエアシャワーまでしてぼうしもマスクもズボンもたぶん清潔なんですよね。まだまだあります。種類がちがう牛乳やヨーグルトはちがう所でつくられていたことです。私は商品がたのまれたらつくるとかと思ったけれどちがいました。たぶん私の考え方とお客さんが多くてまにあわないんですね。人間が牛乳を飲み始めたのは五千年前の奈良時代からで中国から伝わり徳川吉宗がみんなが牛乳を飲めるようにしたということに、牛乳ってそんなに昔から人々に愛されていたんだなと思いました。牛って不思議がいっぱいでまだまだ知らないことがたくさんあると思うのでいっぱい勉強したいです。

五年 男子

先日見学した山口県酪乳業株式会社ではたくさんのことを学びました。たとえば牛にゆうの栄養分は、たんぱく質、ビタミン、ミネラル、とう質、し質などにたくさんの栄養分がある事やホルスタインはよく牛にゆうがとれて、ジャージーはしぼう分が多いことです。だからこれからは牛にゆうを買うときどの種類か見てから買おうと思います。それから消費期限や賞味期限のことも習いました。消費期限はその日になったらきゅうげきにくだることです。賞味期限はその日をすぎるとおいしくなくなることに安全めんがちよっと下がるということです。本当にいい勉強ができてよかったです。

五年 女子

十二月十四日山口県酪と試験場に見学に行きました。初めに山口県酪に行きました。初めて知ったことがありました。例えば人が牛乳を飲み出したのは五千年前からだということや加熱することで生乳から牛乳になることです。他には日本で良く見る牛はホルスタインが多く牛乳の量が多いこと、十名くらいの方が牛乳の検査をしていることも知りました。また、たんぱく質やが牛乳に入っていることや牛乳はチーズやヨーグルトにもなることが分かりました。牛乳工場の仕事も見学しました。とてもたくさんの検査に合格した牛乳でないといけぬことを分かりました。改めて牛や牧場の方々に感謝して牛乳を飲まないといけぬと思いました。美祢市の試験場ではエサやりをさせていただきました。エサをやる前は少しこわかったです。しかし、自分がやったエサを牛が食べてくれるとだんだんエサやりが楽しくなりました。もっとエサやりがしたかったです。また牛にもハーフがいることにとてもびっくりしました。とてもいい勉強になりもっと牛についてくわしく知りたいと思いました。

六年 女子

山口県酪乳業株式会社では、牛乳ができるまでを見学しました。ビデオでは牛について、くわしく教えてくれました。その中でも私は五千年前に牛乳が飲まれていたところにおどろきました。また一日に十二万七千本の牛乳が山口県で飲まれているのにびっくりしました。工場内を見学しているときこんなにすごい所で作られた物を飲んでいたんだなと思いました。工場内を見学することができてよかったです。次に、美祢市にある畜産試験場へ行きました。それでたくさんの牛とふれあうことができました。私は牛が舌をならして遊んでいる所を見て、へんな遊びをしているなと思いました。また、牛に牧草をあげました。初めてやるのでとてもきんちょうしました。最初はこわくてあげることができなかったけれど、自分があげた牧草を食べてもらった時、とてもうれしかったです。こんな貴重な体験をすることができて私は幸せだなと思いました。また牛についていろいろ知りたいです。

五年 男子

ぼくは、河村牧場で牛についてたくさん習っていたけれど、それでもまだまだたくさん知ることがありました。たとえば昔は薬として貴族が飲んでたことにびっくりしました。今はだれもが飲むことができるけれど昔はこうきゅう品だったんだなと思いました。それなのに今は一本六十円とはとても安いと思います。昔の人たちが手にいれることができなかったことを考えて今以上に感謝して飲みたいです。

五年 女子

私は、畜産試験場と県酪の牛乳工場に行くことになったときからとても楽しみにしていました。まず最初に県酪の牛乳工場に行きました。私は初めて工場を見て大きくて車がたくさんあっておどろきました。中の工場に入るとたくさんの人が働いていてびっくりしました。お話を聞くと百六十人働いていることが分かりました。そのうちの百十人が牛乳の検査をしていることも分かりました。県酪の牛乳工場は、たくさんのおいしい食べ物を生産しているんだなと思いました。例えばもちろん牛乳やヨーグルトやプリンまで作っていることを知りました。その中で私はヨーグルトが大好きです。最後に畜産試験場に行きました。畜産試験場ではたくさんのおいしい肉牛がいました。たくさんいたので中にはつのが変な形で生えているのもいました。私は肉牛にえさをやりました。口元の近くに乾草を持ってあげると歯のちからがすごいのかすごい力で食べていました。今年だけでたくさん牛のことが分かって興味を持ちました。これからもっと牛の勉強をしたいと思いました。